



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通39
発行人 カトリック福岡教区
編集人 森山信三
TEL 092-522-5139
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡教区
定価 一部60円

7月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【一般の意向】キリスト者の共同体
【布教の意向】世界青年の日
【日本の教会の意向】若者が真理を見いだせるように

新教区長を迎えての司祭研修会

「パウロ年」の学びと協力体制を確認した司祭団

2008年度の福岡教区全司祭研修会が、6月17日から19日まで熊本県の阿蘇で50人の司祭が参加して行われた。今回は、聖パウロ生誕2000年を記念する「パウロ年」を受け、聖パウロ修道会の夫津木昇神父を講師に、研修会を行った。最終日には、宮原良治司教から司祭団との関り、協力体制の構築などの語りかけがあり、新しい司祭評議会評議員の発表なども行われた。

研修会のはじめに講師の夫津木神父に、どうして「フランシスコザビエル年」でも、「ドミニコ年」でもなく、「パウロ年」なのか、と問いかけられた司祭たちは、あまりその意義について考えていなかったことにまず気付かされた。教皇が「聖パウロのような証し人になりなさい」とメッセージの中で述べているのは、キリストのために犠牲を払ってでも証し人として生きる人が減っている事実があるからだ

と講師は指摘し、その背景に、自己中心的、他人への無関心な生き方が世界に、そしてこの日本にも蔓延しているのではと分析した。その上で、わたしたち日本の教会も本当の意味で皆が一つの歩みになっているのかと問われ、自分たち

ちが感じている問題をズバリ指摘された感じを受けた。そして、このような状況の中、パウロに学ぶことの重要性を一同は確認した。

その上で、そもそもパウロとはどういう人か具体的に知っているのだろうかという問いが出された。まず、書簡の導入部に記されているパウロ自身が自分のことを述べている箇所からはじめて、パウロが語るパウロ像と他の人から指摘されたパウロ像を学び、彼が偉大な宣教者であると同時に、偉大な司牧者であったことを学んだ。しかも、それは、たとえ失敗してもよくよする間もなく次の宣教へと赴く、たとえ困難、苦しみ味わっても、証し人としての使命への熱意があつたことに、司祭として果たして熱

意を持つて司牧しているのかと自分を見つめる機会となった。また、パウロ自身が、自分一人で活躍したのではなく、たくさんの協力者がいて使命を果たしていったこと、また、信じる者となった共同体の一人ひとりをよく知っていた姿から、司祭として、教会共同体を知り、協力して働くことの重要性を再認識する機会となった。

講話を受けて行った分かち合いでは、パウロ年を活かすため、たとえば主日の説教を第2朗読の書簡を中心に組み立てようとか、パウロのようなメディアの活用も考えようという意見も出ていた。

最終日には、司教からの報告とお願いの時間が設けられた。司教は司祭団に対し、司教として様々な権限があるのは事実だが、ひとりでは何もできないので、福岡教区を神様の望まれる方向へ導くために司祭団に協力してほしいと話し、付き合いを大事にしたいと述べた。

また、有能な司祭がいても、ひとりだけで働いては限界があるわけで、いかに司祭団として力を結集できるかが大切であり、「交わりの中の交わり」を大事にしようと呼びかけた。その上で、司教のもと協力体制を構築するため、新しい教区の役職、担当、司祭評議員が発表された。また、先に行われた司教総会の報告や、パウロ年の教区内巡礼教会指定などが行われた。

司祭団として一致しながら、「父よ、み国が来ますように」という宮原司教のモットーの実現のために、聖パウロにならないが、熱意をもって司祭団として一致しながら働こうと決意を新たにしました研修会となった。

教区内4教会が50周年を祝う

5月・6月と佐賀地区、福岡地区など4つの教会が50周年を祝った。どこも新しい司教の着座を待っての式典で、信仰の恵み、共同体の一致を感謝した。

天神から5・6キロ 大楠教会



昭和33年（1958）3月に産声をあげた大楠小教区は、創立当時の信徒数90人はいまや348人の信徒数を数え、幼稚園と共に50年の道のりを歩んできた。

記念ミサは、5月25日、18日着座したばかりの宮原司教を迎えて、感謝のうちに開催された。ミサには、歴代の主任司祭や近隣の司祭、信徒が駆けつけ150人ほどが参加し、ともに喜びを分かち合った。

昭和33年（1958）3月に産声をあげた大楠小教区は、創立当時の信徒数90人はいまや348人の信徒数を数え、幼稚園と共に50年の道のりを歩んできた。

記念ミサは、5月25日、18日着座したばかりの宮原司教を迎えて、感謝のうちに開催された。ミサには、歴代の主任司祭や近隣の司祭、信徒が駆けつけ150人ほどが参加し、ともに喜びを分かち合った。

記念ミサは、5月25日、18日着座したばかりの宮原司教を迎えて、感謝のうちに開催された。ミサには、歴代の主任司祭や近隣の司祭、信徒が駆けつけ150人ほどが参加し、ともに喜びを分かち合った。

記念ミサは、5月25日、18日着座したばかりの宮原司教を迎えて、感謝のうちに開催された。ミサには、歴代の主任司祭や近隣の司祭、信徒が駆けつけ150人ほどが参加し、ともに喜びを分かち合った。



武雄教会

鹿島・武雄両教会の創立50周年記念感謝ミサは、6月1日、武雄教会において宮原良治司教司式のもと行われた。穏やかな日差しのもと、創立時の主任司祭はじめ教区内各地から集まった司祭、鹿島・武雄両教会の信徒、また遠近から参列した多くの人たちが過ぎし50年の恵みを感謝し、新たな50年への神の導きを願って祈りを捧げた。

ミサ後、幼稚園に場を移しての祝賀会では、鹿島・武雄両教会信徒の暖かいもてなし、両教会を司牧するマネルバ神父の「50周年の歌」などで大いに盛り上がり、楽しく有意義な一日であった。

第二次大戦後、当時の第2代福岡教区長深堀仙右衛門司

教の要請に応え、佐賀地区をミラノ外国宣教会が受け持つこととなった。そうした中、昭和20年代後半に相次いで来日した司祭たちは佐賀や唐津の教会を拠点に県内各地で活動を始めると共に、教会創設に努めた。

昭和32年（1957）10月7日、ムラトリ神父を初代として創設された鹿島教会は「ロザリオの元后」に奉献された。鹿島には慶長12年（1607）に教会が建てられていたが、同18年の禁教令で取り壊されており、実に334年ぶりの再開であった。その後、市の道路計画で現在地に移転、711坪の敷地に教会と幼稚園を新築した。当初の鹿島教会（信徒数110人）は、有明干拓の堤防工事で働いていた長崎からの信徒が多かったが工事完了と共に引き揚げ、現在は県内9つの教会の中で一番小さな共同体（現信徒数52人）ではあるが、しっかりと鹿島に根をおろして頑張っている。

武雄教会は、教会用地を探し回っていたルツチ神父の数奇な出会いによって杵島炭坑の高取氏別邸を手に入れ、敷地681坪、建坪146坪の純和風。床の間を祭壇に、畳敷きの座敷を聖堂にして、昭和33年9月23日に献堂式が行われた。この「イエスの至聖なる聖心」に奉献された教会の初代主任は、現在も伊万里教会主任として活躍中のガッツアルディ神父である。

昭和35年に建物の一部を取り壊した建材で幼稚園を建設、同45年には教会を現在地に移築して幼稚園の園庭を広くしたが、聖堂は往時のままに純和風である。

創立当初の武雄教会（信徒数90人）は炭坑で働く長崎からの信徒が中心であったが、閉山後は地域住人である信徒がしっかりと祈りと活動を続け現在80人の共同体である。

ミラノ宣教会と共に 鹿島・武雄教会

梅雨入りの6月8日14時、重苦しい鉛色の空を吹き飛ばすようにカトリック茶山教会（現信徒数406人）の創立50周年記念式典が感謝のうちに執り行われた。茶山教会は初代福岡教区長チリー司教について、長崎から来た竹山倉松氏に端を発する。彼の出身地である五島・曾根からの人々が主に移り住み1955年11月3日、信者一同の労働奉仕で聖堂を建立、その後、1958年1月15日小教区として独立し、ファチマの聖母に捧げられた。

記念ミサは宮原良治司教の主式に司祭8人、信徒120人余りが参加し、喜び祝った。宮原司教は「イエス様は社会から忌み嫌われている人々に近づき、彼らを大切にしました。本当の福音は宗教、民族、国境を越えるものです。50周年を越えるこの時もこの考えを堅持し、未来に進んでください。祈りから一番遠い人のために祈りを捧げましょう」と説教された。

ミサの後に祝賀会が開かれ、信徒一人ひとりと宮原司教との一言会話と笑顔に包まれた握手に感謝し、鶴野神父（第4代主任）のバイオリンなど有意義で楽しい一時を過ごした。最後は現主任司祭の山田成章神父よりミサに参加したみんなへのお礼と共に茶山教会の家族的雰囲気を感じ、これから茶山教会の歩みを宮原司教の手に任せ、祈りを表明し、みんなの協力を仰いだ。

物事を成功させるためには、計画、ヴィジョンをしっかりと持っていることが必要である。そのヴィジョンに向かって段階的に努力し、進んでいく。そこに張り合いもある。小生は小さな共同体をあずかっている者だが、その共同体のヴィジョン作りに日々苦勞している▲さて6月28日からパウロ年が始まった。聖パウロこそ、神のヴィジョンを携えて大活躍した偉大なる宣教者。小生も聖パウロと共に歩む年にしたいと考えている。これまでより熱心に聖書に親しむことであるいは十分かもしれないが、みちくさのつもりでこれを機会に聖パウロについての本をできるだけ読みたいと思っている▲先日ある修道会の叙階式に参加した。その修道会にとって

は、久々の叙階式。素晴らしい叙階式であった。司式の司教と一緒に、たくさんの司祭たちの按手によって受階者の上に聖霊の賜物が祈り求められ、新しい司祭が誕生した。聖霊に熱心に祈る。神の計画を遂行するためには、聖霊の賜物を祈り求めることを忘れてはならない。「聖霊は、わたしたちの弱さを助けてくださいます。わたしたちはどのように祈るべきかを知りませんが、聖霊ご自身が、言葉に表わせないうめきを通して、わたしたちのために執りなしてくださるのです」（ロマ8・26）と聖パウロは教えている▲福岡教区も新しい司教様を迎え、喜びのうちに聖霊の御助けを祈りながら、新たなヴィジョンをもって進んでいく。教区民が一致して共に祈り、支え合いつつ福音宣教に邁進していききたいものである。（N）



五島の曾根がルーツ 茶山教会

ぶちくさ

現在、日曜日の典礼には二つの恐れが潜在している気がします。それはみことばを読んでもらうため、ミサ以外では自分で聖書を読もうとしない恐れです。またパンフレットを使うので、聖書そのものに触れないし、使い方も知らないという恐れもあります。そうならないように、聖書にさわる機会や習慣を身に付

聖なる読書(2)
みことばに触れる
「読書」



け、自分で声を出して聖書を読むことは、意義深いことだと思えます。古くから伝統的な聖書の読み方があり、ラテン語で「レクチオ・デイヴィナ」と呼ばれてきました。「レクチオ」とは名詞で読書、「デイヴィナ」形容詞で聖なるという意味、つまり「聖なる読書」です。これは勉強でも、祈るための材料や準備でもない。信者にとって聖書を読書すること自体が祈りです。従って聖なる読書とは神について何かを知るためではなく、神ご自身と出会うために読むこと(前回参照)。聖なる読書が決まった時に行われるのは大事なことです。人それぞれにその「時」は異なるが、それを忠実に、実践するのです。同じように、一貫した朗読も必要です。

毎日、あるいは主日の朗読書があるから、それに従う。聖書の中の一つの書を、始めから終りまで通して読む場合はそれでよいでしょう。ある箇所を読む場合、一度目を通すだけでなく、何回も読みかえしましょう。声を出して読めば、いいかもしれません。「落ちていてゆったりした読み方」です。みことばは、本来、聴くべきものなのですから。また、福音書の箇所を暗記するほどよく知っているなら目で箇所を心に刻みつけてみましょう。聖書の一節を繰り返し、言葉一つ一つを丁寧に読むことによって、大切な部分が浮かんできます。具体的に例えばペンを手にして、心に響いた言葉に下線を引いたり、蛍光マーカーでキーワードに印をつけたりすると、そこに表れている人々の

行動や心の動きに触れ、その場に参加しているような経験をするでしょう。さらに並行箇所を読み、注解がついている聖書であればそれも調べます。その日の箇所の前後の箇所や、関係のある他の箇所にも目を留めてみましょう。みことばは互いに説明し合っていますから。「聖書による聖書の解釈」、これが聖書読書についての揺るぎない基準です。この方法に従い、一定の時間で一定の箇所をゆくりと読むことを実践するなら、聖なる読書は日曜日の典礼の準備とその延長になるに違いありません。フィリッピニ・レナト神父(武蔵ヶ丘教会主任司祭ザベリオ会司祭)

2007年の福岡教区現勢														2007年12月現在			
小教区名	在籍信徒数			不明計	死亡計	転入合計	転出合計	洗礼		ミサ参加者数				主日	復活祭	降誕祭	外国語
	男	女	合計					幼児	成人								
1 糸島	195	225	420	47	1	20	1	0	0	120	150	230	0	0	0	0	0
2 今村	437	553	990	0	18	1	1	3	2	650	700	800	0	0	0	0	0
3 大牟田	148	200	348	15	4	1	1	3	3	100	230	600	30	0	0	0	0
4 大牟田	107	202	309	1	3	12	4	1	3	100	200	300	25	0	0	0	0
5 小郡	154	242	396	8	3	5	3	2	0	130	250	250	0	0	0	0	0
6 久留米	446	640	1,086	152	11	14	15	14	10	400	600	800	30	0	0	0	0
7 古賀	416	522	938	11	3	14	3	2	10	223	448	630	0	0	0	0	0
8 篠栗	356	516	872	21	5	25	10	5	3	250	300	550	0	0	0	0	0
9 浄水	182	275	457	0	4	18	4	0	0	150	250	400	0	0	0	0	0
10 大名	704	1,072	1,776	49	13	45	35	19	27	505	805	2,505	120	0	0	0	0
11 高宮	249	375	624	51	5	6	19	2	2	110	250	250	0	0	0	0	0
12 茶山	199	207	406	34	1	2	7	1	0	91	130	175	18	0	0	0	0
13 西新	585	767	1,352	21	11	37	22	13	3	400	500	800	0	0	0	0	0
14 箱崎	119	206	325	8	3	25	6	1	3	90	200	325	0	0	0	0	0
15 光丘	589	667	1,256	95	7	14	7	6	3	250	350	490	0	0	0	0	0
16 二日市	294	396	690	13	5	12	17	5	2	250	390	530	0	0	0	0	0
17 本郷	315	367	682	11	7	6	5	2	5	350	550	655	0	0	0	0	0
18 吉塚	329	431	760	0	7	8	24	3	0	150	260	310	0	0	0	0	0
19 老司	283	315	598	40	5	2	5	0	2	100	200	230	0	0	0	0	0
福岡地区計	6,107	8,178	14,285	577	116	267	189	82	78	4,419	6,763	10,830	223	0	0	0	0
20 飯塚	119	147	266	5	2	3	5	4	1	75	180	200	0	0	0	0	0
21 黒崎	468	652	1,120	9	6	10	13	3	2	400	500	800	0	0	0	0	0
22 小倉	876	1,371	2,247	418	22	15	18	6	8	500	800	1,200	0	0	0	0	0
23 新田原	835	941	1,776	58	19	7	53	3	1	700	880	888	0	0	0	0	0
24 田川	36	56	92	0	1	2	0	1	1	30	50	90	0	0	0	0	0
25 天神	91	162	253	24	4	0	0	0	0	70	130	200	0	0	0	0	0
26 戸畑	287	388	675	0	8	2	2	10	8	200	250	700	0	0	0	0	0
27 直方	83	79	162	0	0	6	0	1	2	40	80	120	0	0	0	0	0
28 水巻	340	429	769	0	9	8	14	0	6	160	350	400	0	0	0	0	0
29 門司	201	278	479	30	5	1	4	2	2	150	230	280	0	0	0	0	0
30 湯川	561	635	1,196	49	9	6	5	6	6	240	400	500	0	0	0	0	0
31 行橋	405	441	846	14	4	5	6	4	2	350	700	750	70	0	0	0	0
32 若松	118	175	293	0	1	5	0	6	4	80	100	150	0	0	0	0	0
北九州地区計	4,420	5,754	10,174	607	90	70	120	46	43	2,995	4,650	6,278	70	0	0	0	0
福岡県合計	10,527	13,932	24,459	1,184	206	337	309	128	121	7,414	11,413	17,108	293	0	0	0	0
1 伊万里	132	160	292	21	1	8	0	2	1	84	215	234	0	0	0	0	0
2 鹿島	22	30	52	0	0	0	0	0	0	16	40	65	0	0	0	0	0
3 唐津	221	265	486	29	4	3	5	3	3	70	150	210	0	0	0	0	0
4 佐賀	246	399	645	127	17	4	30	9	11	90	300	310	30	0	0	0	0
5 多久	51	61	112	5	0	1	0	0	0	20	34	52	0	0	0	0	0
6 武雄	35	45	80	0	4	0	1	0	0	20	60	110	0	0	0	0	0
7 鳥栖	138	211	349	7	4	13	13	3	3	120	200	300	0	0	0	0	0
8 馬渡	170	160	330	0	4	0	4	3	0	300	320	350	0	0	0	0	0
9 呼子	150	165	315	36	5	3	4	5	3	120	230	240	0	0	0	0	0
佐賀県合計	1,165	1,496	2,661	225	39	32	57	25	21	840	1,549	1,871	30	0	0	0	0
1 荒尾	26	58	84	0	1	0	0	0	0	25	30	50	0	0	0	0	0
2 大江山	124	194	318	1	5	2	4	2	2	120	250	330	0	0	0	0	0
3 大井町	126	174	300	40	1	3	0	5	1	100	170	260	0	0	0	0	0
4 菊池	31	65	96	1	1	2	0	2	0	30	50	80	0	0	0	0	0
5 健軍	101	187	288	0	4	10	8	1	2	140	180	200	0	0	0	0	0
6 崎津	89	125	214	4	2	0	2	0	0	55	150	150	0	0	0	0	0
7 島崎	141	208	349	0	5	0	0	1	5	150	150	300	15	0	0	0	0
8 玉名	43	73	116	0	0	3	0	0	0	45	100	100	15	0	0	0	0
9 手取	344	640	984	0	16	11	18	3	18	300	550	850	60	0	0	0	0
10 吉	62	134	196	0	1	0	2	2	4	60	125	180	10	0	0	0	0
11 本渡	40	76	116	19	1	2	0	0	0	20	30	70	0	0	0	0	0
12 水俣	42	56	98	11	1	0	0	0	0	30	50	80	0	0	0	0	0
13 武蔵ヶ丘	140	235	375	20	1	10	0	4	2	150	200	300	5	0	0	0	0
14 八代	50	115	165	24	0	1	2	0	4	70	150	150	0	0	0	0	0
熊本県合計	1,359	2,340	3,699	120	39	44	36	20	38	1,295	2,185	3,100	105	0	0	0	0
教区総計	13,051	17,768	30,819	1,529	284	413	402	173	180	9,549	15,147	22,079	428	0	0	0	0

カトリック難民移住移動者 AOS 博多港訪船報告④

博多港は、それほど大きな港ではない。でも便利な港であるとの印象を受けています。しかし今まではAOSによる外航船員のための訪船は行われていたが、ご存知のように博多港は日本海に面して周りを2つの島で囲まれた百万都市の良港です。年間の博多港に入る外航船は約5,7千隻。主に扱う貨物は電気関係の半完成品や石油、穀物、LNG、建築資材です。公共埠頭として須崎、博多、中央、多港での訪船で大変心が和み

東浜、箱崎、香椎埠頭、それに最新鋭のコンテナ埠頭施設のアイランドシティがあります。これらの船での貨物の搬入は、みな発展途上国の安い労働賃金で雇われた人達によるもので、AOSはこれらの人たちの福利厚生や布教活動、家族との連絡の手伝いなどをしています。毎日入る船の外航船員は主にフィリピン、中国、ロシア、インドネシア、スリランカの人々で、一隻に20人位、昼夜を問わず過酷な労働に強いられています。今年の正月ごろに東南アジアからの船員さんは、日本に向かう中で海が大荒れで、死ぬ思いがした。教会の方の博多港での訪船で大変心が和み

ましたと言っていました。日本は資源物資の80%が労働賃金の安い外国船員さんたちによつて船で運ばれてきています。こういう人たちのお世話するのがAOSの仕事です。できれば船員司牧関係の仕事をお手伝いできる人、また奉仕が出来る人があれば、福岡教区の難民移住移動委員会のコース・マルセル神父(美野島司牧センター)に連絡して、船員司牧関係の仕事を福岡でも立ち上げることが出来ればと希望しています。県南には、三池港、長洲港、八代港など外国船籍の入港があります。山口正美神父(笹丘教会)

ライトアップ次はおそらく富士だろう
それぞれが電話している談話室
坂牧 春妙
坂牧 春妙

いのちの旅立ちを前に...

その⑪

昔書いて下さったお便り、熊本で受け取りました。長崎へ出張とのこと、かがして下さった不安です。その手紙で分かったことは、娘様がこの春病気に。しかし6月20日にお亡くなりになったとのこと、さぞご心痛の事と存じま。す。が、またもキリシタンのお調べがありまして、結局玄也、子ども達と共に。屋に入ることもなくなってしまいました。長い年月の願いが叶って満足して。が、罪人として生きてきて、その裁きはどのようなのかは存じませ。す。後にお達しがあると殿様が申しておりました。その判決を今か今かと待。で、移りゆく世界のことばかりに気をとられていたのは空しいことと思いま。長い人生の日々を悔い改めて過ごして下さいます。お年を取っているのですから、

何かあなたのためになる物をお贈りしたいが、私達のこと良い道具は持。の値打ちがあるとお申し立てしました。その由緒書きは長安様を通してあ。の贈り物です。あなたが売りになると、生活の足しにして下さいます。金60分。銀3つ差上げます。何の役にもたないとは知って下さいます。金の持ち合。わせもございせんので、こんなささいな物をお贈りします。これらは主馬殿。宮内殿に頼んで二人に直接に渡します。どうぞお受け取りください。角兵衛殿、六大夫殿、十衛門殿と手紙などを考えましたが、そんなにくさん書。くこともできず、あなたがよろしくお伝えください。皆様の心が変わら。に、いつかパラソルの喜びにてお会いしたいと忠衛門殿、マリアとその娘。にも言ってお下さい。三大夫殿、奥様、ジョアン様、また、しまさすけ殿。も。伝えください。皆様に、「いつも聞く人の物音や人の生命への思いも全部谷間。の鐘は包み隠します。このことの意味を決して忘れてはなりません。」とお。え下さいます。あなたにもお詫びをしないといけないことがあります。どうぞ。大串市兵衛様

玄也家内

稲垣良典セミナー

毎月第二金曜日(変更あり) 20:00 ~ 20:45

- *テーマ: カトリック教会の教えについて
- *テキスト「カトリック教会のカテキズム」
- *初心者の方の勉強会・入門講座ではありません。
- *カトリック要理を深めたい司祭・修道者・信徒のための神学セミナーです。

カトリック福岡黙想の家

聖堂・洋個室(洗面トイレ付) / 冷暖房・浴室シャワー室・障害者用トイレ・エレベーター

カトリック御受難修道士会・宗像修道士院

811-4155 福岡県宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222・Fax 0940-32-3385

http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm

ミサ用ワイン

ヴィノ デ ミサ

VINO DE MISA

スイートタイプ(赤)(白)

ご用命 お問い合わせは

有限会社 大楠酒店

ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号

電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑

カトリックのご葬儀

互助会制度もご利用できます。

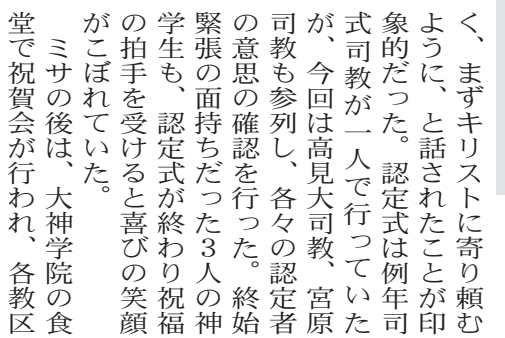
木下株式会社

TEL 092-526-5656

〒810-0016

福岡市中央区平和3丁目1-5

大申学院



の司祭や認定者の親族の方々と喜びを分かち合っていた。

助祭・司祭候補者認定式は、神学科一年生が司祭叙階を望む意思を表明し、正式に各教区の叙階候補者として認定される式で、この日からスタートとスルプリを身につける。

来年度からは、大神学院の統合に伴い、各教区での認定式になる可能性があり、サン・スルピス大神学院で行われる認定式は最後かもしれないというところで、養成者や認定者も感慨深げであった。

5月24日(土)・25日(日)、カトリック大名町教会において召命を共に祈る会(浦川務神父)・主催の「召命祈願徹夜祈禱会」が開催された。

「召命は信仰生活の実りです」をテーマに、福岡教区修道女連盟、福岡地区青年会などが協賛し、福岡地区の司祭、修道女、神学生、青年、それぞれの福岡・北九州召命を共に祈る会、中学生2人の初参加もあり総勢80人が御聖体を顕示して祈った。

第 19 回

途中、十時伸治助祭は、出身の小倉教会で先輩の中村信哉神父の司祭叙階式に感銘を受けたことなど、召命のきっかけを語った。

召命祈願徹夜祈持

続いて浦川神父は、石神忠真郎司教（那覇教区名誉司教）の話として、「人の一生で一番大事な『いまわ』の時、誰よりも必要とされる人、それは力トリツクの司祭だ」と話

した。

このような司祭の素晴らしさが祈りに繋がり、青年会の「父よ、ゆだねます。私のすべてをあなたのみ手に」とテゼの歌。全員で祈った十字架の道行。中学生のロザリオ先唱。神学生は、中国のカトリック教会の為余山（シエシャン）の聖母への祈り。そして感謝のうちにミサで終了。共同体が一つになった実り豊かな祈禱会だった。

シエラレ
オネ報告会

危険なジャングルの中を逃
 げている時、本当の宣教師の
 あり方に気付かされたことや
 兵士に銃で撃たれそうになっ
 たとき「聖母マリアへの祈り」
 を唱えながら夜空を見上げる
 と、美しい月が出ていたこと
 など、内戦の渦中での出来事
 なども話した。

「内戦中に兵士から腕を切
 り落とされ、あるいは目を潰
 され全盲になった子どもが一
 生懸命生きようとしている。

それは『パパゴットからいた
だいた命を大切にしよう』と
いう思いを誰もが本能的に
持つている。生かされている
ということとは、神様がこの先
きつと、何か良い事を用意し
てくださっていると信じてい
るから。元旦には『神様、今
年も死ななかつた。ありがと
う』と歌います」と語った。

また、「日本人は恵まれ過ぎ
ていつの間にか、自分のこと
ばかりに夢中になり、便利な
道具に振り回され、本当の幸

せを見失っているのかもしれない。自分に与えられる小さな困難や苦しみに立ち向かい、打ち勝つ努力を重ねることで少しずつ自分を高め、その喜びを分かち合いましょう。」とSr.根岸は呼びかけた。

20年来、シエラレオネへの支援活動をしている西新教会の細川さんは「天国は、天上にあるのではなく、心の中から始まっているのだと思います。」という最後の言葉が心に響きました、と語った。

☆宣教師パウロのメッセージ
使徒パウロ生誕二千年を
記念し、彼を知り、彼の視
点で現代世界を読む格好の
書。
ワルテル・ガルデーニ著

本との出会い 人との出会い 神との出会い

 セント・ポール

FUKUOKA

キリスト教書籍・信心用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名 2-7-7 大名町トリック教会 1F
平日 / AM 10時 ~ PM 6時
日・祝日 / AM 11時 ~ PM 4時 (水曜日定休日)
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL: <http://www.pauline.or.jp>

神から生れた月足らずの子、時間空間を自在に越えて偉大な使徒の生涯に迫る評伝。

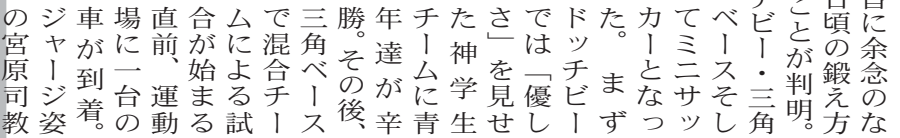
☆聖パウロ
その心の遍歴
豊富な写真資料と、日本
人ならでのゆきとどいた解
説。

和田
幹男
著

福岡地区青年 対 大神学生の一日

梅雨のわずかな晴れ間となった5月の土曜日。福岡・スルピス大神学院で、青年と神学生によるスポーツ大会が開催された。参加者35人。

当初「神学生と青年による本気(マジ)サッカー大会」を予定。しかし運動不足社会人の青年メンバーと、サッカーを愛し、短い



様が現れ、試合に参戦！青年や神学生に混ざり運動場を所狭しと走り回られた。その後のサッカー戦では、司教様登場で勢いづいた青年と神学生混合チームで対決。神学生の確かな腕と、負けていない男性青年達の奮闘で良い試合となった。

こうして時折涼しい風が吹く土曜の午後、神学校の運動場は若者たちの笑い声と声援に包まれていた。

「教区に神学校がある」これは青年にとって身近で大きなお恵みのひとつ。教会活動やFYCCなどを通して神学生と出会うことは、信仰や召命、生き方を考える中で大きな学びである。司祭への道を生きる神学生の方々に豊かなお恵みを、感謝を込めて祈りたいと思う。

— 宣教の在り方を考える集い —

「あなたにとって教会とは何ですか？宣教という言葉をごどのように捉えていますか？」

この質問に対しレポート提出することが参加条件のひとつであった2004年1月の合宿がその始まりでした。（司祭が事務局担当）質問はさらに続きます。

「日本の教会の宣教は行き詰まっていると思いますか？ そうだとするとその理由は？ これからの宣教にとって何が大切だと思いますか？」 私たちは宣教について真剣に分かち合ったことがあるだろうか、と深く考えさせられた合宿でした。また参加した信徒、修道者、司祭、司教がレポート提出したことで同じ目線でも語り合えた新鮮な合宿でもありました。

その熱い思いが共通点となり信徒有志を世話人とする「宣教の在り方を考える集い」が発足したのです。「集い」としたのは新しい会を作るのではなく既存のグループや協議会を側面から応援する自由な集まりであると

位置付けたからです。その意味は、キリスト者として責任ある行動と誠実な態度でもって自分に出来る「宣教のうねり」を響かせることです。集いの目的と方向性は、① 第二バチカン公会議、ナイス1、2の精神を基盤 ② それを土台にした信仰養成の取り組みを創意工夫 ③ 各組織への提言、発信の3つです。

私たちは、毎年1回集いを開催し教区全司祭、修道会にも案内を出し参加を呼びかけています。今年で5回目となりますが、近年定員60名を越す状況です。また、今年度は福岡教区信徒協研修会のプログラム作成にも関りました。列福式を迎えるにあたり、殉教者たちが示した足跡、第二バチカン公会議で信徒の役割が強調されたナイス資料等をお渡しし、研修会後も学び合えるようにしました。

このような小さな活動ですが、福音宣教が身近に語り合える教会づくりの一助になればと願っています。

★パウロ年公開講座（6月6日）上智大学で開催。「パウロから学ぶ現代日本の福音化」がテレビで放映されます。

放送日時 7月24日（木）9時から10時と21時30分から22時30分まで。

チャンネル Ⅱ C S デジタル放送スカイパーフェクトTV
CH 216 「ベターライフチャンネル」

使徒パウロ誕生二千年を記念し、6月28日から、2009年6月29日（聖ペトロ・聖パウロの祝日）までを「パウロ年」とすると教皇様は発表なさいました。この機会に、聖パウロへのさらなる理解を深められるように、セント・ポールFUKUOKA（大名町教会1階）でも、サンパウロ社（中央区赤坂）でも、聖パウロを知り、深め、祈るための書籍などが数多く準備されています。

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション

自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。

費用は医療、介護保険でのご利用になります。

春日市上白水 5-11-102 092-517-6313
福岡プライマリア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業

・一般住宅（新築・改築工事）
・鉄骨工事 ・RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

森山工務店

ヨゼフ 森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎ (092) 811-7265

不動産全般／売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください



(株)ジャパン・スマイルか

代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子

TEL 092-761-8800

<http://www.iruka-japan.com/>

キリストの愛に共に生きる

カトリック教会のカテキズム

日 時：2008年7月27日（日）15：00
場 所：カテドラル大名町教会
講 師：櫻井尚明神父（大名町教会主任）
参加費：1回 500円

北九州 2008 年度聖書講座 マタイ

* 2008 年度はマタイの特に「山上の説教」を中心に学んでいきます。全5回。

第2回：

日 時：9月14日（日）
場 所：カトリック小倉教会
講 師：山元 眞 神父（行橋教会主任）
テーマ：マタイ福音書6章 施し、祈り、断食、摂理への信頼

主 催：北九州地区信徒協・聖書部会

2008 年日本カトリック平和旬間 8月6日～8月15日

◆福岡地区平和を祈る集い

*実施日 8月3日（日）13：00～17：00
*テーマ 福岡地区のキリストにおけるすべての兄弟姉妹の交流
*標 語 手をつなごう ことばを越えて
*プログラム
13：00 ミサ（司式 宮原良治司教）
14：30 交流会 その他

◆北九州平和の集い

*実施日 8月10日（日）
*テーマ 語り合おうよ、平和への思いを
*プログラム
第一部 平和祈願ミサ（各カトリック教会）
第二部 カトリック小倉教会
13：00～16：00 展示会・交流会・他
☆詳細は各小教区へ送付します。

夏期神学講座開講のお知らせ

講義日程と担当講師

7月24日（木）	新約聖書	湯浅利治神父
7月25日（金）	旧約聖書	嘉松宏樹神父
7月26日（土）	信仰と理性	谷隆一郎（九州大学教授）
7月27日（日）	神学概論	高木善行神父（午前のみ）
7月28日（月）	臨床バストラル	盛 克志神父
7月29日（火）	罪といやし	熊川幸徳神父
7月30日（水）	ミサと祈り	白浜 満神父
7月31日（木）	三位一体の神	阿部仲麻呂神父
8月1日（金）	神学的人間論	大山 悟神父
8月2日（土）	苦と死の意味	大山 悟神父（午前のみ）

時 間：午前：9:00～11:50（昼食）午後：14:00～16:50

受講料：1日 2500円 昼食代 500円

（午前のみ受講：昼食込み 1500円）

締 切：7月10日

問合せ：福岡サン・スルピス大神学院

学務 大山悟神父（☎ 092-871-4943）

◆日帰り・受講だけの申し込み：

・大神学院 学務 大山悟神父（☎ 092-871-4943）

◆宿泊者の申込先：

・臨床バストラル教育研究センター

☎：03-3700-3425 Fax 03-3700-3427

メール：pastoraltokyo@y8.dion.ne.jp

福岡カルメル会修道院 新FAX番号

fax 092・807・7502 ☎ 807・736

福岡教区広報室アドレス

E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

6月中旬、全国広報担当者が会議が行われ上京いたしました。どの教区も限られたスタッフで時間に追われながら紙面づくりに励んでおられる状況を伺い、ある意味慰められました。帰途、Fさんの友人で坂牧さんにお会いし、自作の川柳をいただきました。あまりにも面白かったので、「ちよつとひと息」のつもりで教区報に掲載することにいたしました。今後時々紙面に潤いを与えてくださることでしょう。皆さんの思わずこぼれる微笑を想像しながら、7月号をお届けいたします。

編集後記

熊本地区召命を共に祈る会（日時）7月10日（木）11時（場所）カトリック健康教会（内容）ロザリオと話し合い（問合せ先）健康教会 ☎ 096・368・2825 青木悟神父

熊 本

北九州

佐 賀

佐賀祈りの集い

（日時）7月9日（水）10時～11時30分（場所）佐賀カトリック会館（内容）共に祈る（次回）7月23日（水）10時～12時はミサと祈り（毎月第2と第4水曜日。どうぞご参加下さい。）（問合せ先）☎ 0952・30・8347 吉武

熊 本

熊本地区召命を共に祈る会

（日時）7月10日（木）14時から（場所）カトリック小倉教会聖堂・信徒会館（内容）ロザリオの祈り、ミーティング（司式）伊東成晃神父（門司教会主任）（問合せ先）☎ 093・963・2359 江口

教区納骨堂管理委員会 お知らせ

福岡和田墓地清掃日
* 7月13日（日）9時から（雨天の場合は27日）
清掃後11時半からミサ
和田墓地開放日
* 8月13日～15日
10時～15時
和田墓地納骨式とミサ
* 8月13日（水）14時
和田墓地での追悼ミサ
* 8月15日（金）14時
浦口均神父様納骨式

案 内 板

会合と催し

7月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 7月

◇4日（金）～6日（日） 荒れ野塾
◇9日（水） ミカエル会
◇12日（土）～13日（日） 山口・島根信者養成研修会
◇20日（日）～23日（水） 産業医大・医学概論セミナー
◇26日（土） 北九州チェナクルム
☆毎週火曜日は祈りの日（日帰り黙想ができます。昼食（粗食）付き・無料）
☆旧ザビエル聖堂再生工事も日ごと行われています。ボランティアも随時受け入れています。 ☎ 0940-33-9004 土田
〒811-4155 福岡県宗像市名残1056
☎ 0940・32・3222 ㊦ 32・3385
http://www1.biz.biglobe.ne.jp/fmokusou/index.htm

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い

年間テーマ：「聖霊による祈り」

・日 時：7月10日（木）10時～15時

・内 容：『エピクレシス』：ミサでの聖霊の働き

指 導：Sr.マリアとS.フランコ神父

問合せ先：真命山諸宗教対話・靈性交流センター

☎ 0968・85・3100 ㊦ 0968・85・3186 ・玉名郡和水町蜻浦1391-7・

E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

8月は休会：次回は9月11日

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：7月19日、8月2日 第1と第3土曜日10時～12時

場所：カトリック大名町教会小聖堂

※基本的に第1・第3土曜。変更になる場合もあります。

ペトロ岐部と187殉教者列福 特別献金のお願ひ

払込取扱 No：00160-1-483345
加入者名：（宗）カトリック中央協議会列福献金口座
問い合わせ先：
日本カトリック司教協議会 列聖列福特別委員会
〒135-8585 江東区潮見2-10-10
☎ 03-5632-4445 ㊦ 03-5632-4465
* 11月24日への準備中です。ご協力をお願いします。

■宣教の在り方を考える集い
（日時）7月21日（月）海の日の
10時から16時まで（場所）カ
トリック大名町教会（テーマ）
自然のままの石：ともに喜び
をもつて生きよう：（参加費）
1000円（お弁当は別途5
00円）（問合せ先）093・
622・1289 瀬下幸弘
■紫苑の心・心のセミナー
（日時）7月20日（日）14時

■北九州召命を共に祈る会
（日時）7月10日（木）14時か
ら（場所）カトリック小倉教
会聖堂・信徒会館（内容）ロ
ザリオの祈り、ミーティング
（司式）伊東成晃神父（門司教
会主任）（問合せ先）☎ 093・
963・2359 江口

■熊本地区召命を共に祈る会
（日時）7月10日（木）11時（場
所）カトリック健康教会（内
容）ロザリオと話し合い（問
合せ先）健康教会 ☎ 096・
368・2825 青木悟神父

熊 本

北九州

佐 賀

佐賀祈りの集い

（日時）7月9日（水）10時～11時30分（場所）佐賀カトリック会館（内容）共に祈る（次回）7月23日（水）10時～12時はミサと祈り（毎月第2と第4水曜日。どうぞご参加下さい。）（問合せ先）☎ 0952・30・8347 吉武

熊 本

熊本地区召命を共に祈る会

（日時）7月10日（木）14時から（場所）カトリック小倉教会聖堂・信徒会館（内容）ロザリオの祈り、ミーティング（司式）伊東成晃神父（門司教会主任）（問合せ先）☎ 093・963・2359 江口

教区納骨堂管理委員会 お知らせ

福岡和田墓地清掃日
* 7月13日（日）9時から（雨天の場合は27日）
清掃後11時半からミサ
和田墓地開放日
* 8月13日～15日
10時～15時
和田墓地納骨式とミサ
* 8月13日（水）14時
和田墓地での追悼ミサ
* 8月15日（金）14時
浦口均神父様納骨式

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具 **コスモス**

〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3

TEL 0942-77-3199

代表者 ペトロ 平田 清



医療法人 聖マリア病院
聖マリア病院

募集

《医師》《看護師》

勤務形態：週8時間 ※詳細は人事課へお問合せ下さい。

★がん診療連携拠点病院★地域医療支援病院

★入院基本科（一般病棟）7：1

〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422番地

TEL 0942-35-3322（代表） FAX 0942-34-3115

【ホームページ】http://www.st-mary-med.or.jp



サンパウロ福岡宣教センター

キリスト教書籍・信心用品を販売しております

1階フロアー 絵本・児童書・神学書・典礼書・聖書ほか

2階フロアー カード各種・十字架・聖像・聖画・家庭祭壇

メダイ・CD・DVDほか

〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 （営業時間：10:00～18:00）

TEL 092-721-2032 FAX 092-739-3930 （定休日＝日曜日・祭日）

WWW.sanpaolo.or.jp E-mail: fukuoka@sanpaolo.or.jp

※当センターに地下駐車場があります。

